

デジタル技術活用 地域課題解決狙う

北区役所と崇城大協定

熊本市北区役所と崇城大 IOT・AIセンター、一般社団法人SCBラボ（いずれも熊本市）は14日、デジタル技術を活用して学生や区職員、区民が地域課題を解決する仕組みづくりに取り組む協定を結ん

だ。

崇城大と市は、2019年に締結した人材育成に関する包括連携協定に基づき、北区職員が地域課題について大学で講義したり、学生が地域の空き家やインシンの対策に協力したりしている。新たな協定を機に取り組みの加速を目指す。

北区役所で記者会見した小崎昭也区長は「地域団体の担い手不足や高齢化などの課題がある中で協定は心強い」、IOT・AIセンター長でSCBラボ所長の星合隆成教授は「より強固な関係を築き、地域に貢献したい」と話した。（元村彩）



地域課題解決に取り組む協定を締結したIOT・AIセンター長で一般社団法人SCBラボ所長の星合隆成崇城大教授（右）と小崎昭也北区長

熊本市北区